



支那海軍少將劉華式外一名  
叙勲茲勲章加授ノ件  
右謹テ裁可ヲ仰ク  
大正十年四月二十八日

内閣總理大臣原敬

内

閣





賞勳局令第三四號 丙閣 外務部第七四十一 十年四月二十六日 裁可

大正十年四月二十六日 丙閣 賞勳局 賞勳局總裁

内閣總理大臣 賞勳局總裁

支那海軍部參事海軍少將劉華式外  
一名敘勲並勲章加授儀調査直スルニ右  
者各肩書ノ職ニ在リテ我海軍武官ト密接  
ナル關係ヲ保持シ殊ニ日支軍事協定及同  
有効期間ニ關スル協定ノ締結ニ近クハ尼港  
事件ノ調停解決ニ或ハ日支兵器供給契約  
ノ成立ニ斡旋盡力シ又兩人ハ帝國海軍司令  
官等ノ來往ニ際シ熱心ニ接待ノ勞ヲ執リ終始  
一貫能ク彼我ノ意志ノ疏通ヲ圖リ我國ノ爲  
ニ效セル功績顯著ナリトス依テ外務大臣上奏頭  
書ヲ通夫々敘勲並勲章加授被仰出可然  
哉此段允裁ヲ仰

賞勳局



支那海軍少將劉華式外一名別記ノ通り我國ニ效  
セル功績有之候趣ヲ以テ敘勲ノ儀海軍大臣  
男爵加藤友三郎及特命全權公使小幡酉吉  
ヨリ申立有之候間此際右功勞ヲ御表彰被  
遊各頭書ノ通り敘勲被仰出候様仕度此  
段謹テ奏ス

大正十年四月十五日

外務大臣伯爵内田康哉



外務省



支那海軍部參事海軍少將

勲二等瑞寶章

劉華式

右者支那派遣第一期生トシテ我國ニ留學シ能ク我國情ヲ解シ歸國後海軍部内ニ重ヲナシ大正二年以降支那海軍部軍務司長兼海軍部參事ノ要職ニ在リ我海軍武官ト密接ナル關係ヲ保持シ從來日支關係事項ハ同人ノ裁量處理ニ依レルモ、多ク又常ニ支那海軍部内ニ

### 外務省

於テ輿論ヲ指導シ我國ノ公正ナル態度闡明ニ努メ殊ニ日支軍事協定及同有効期間ニ關スル協定ノ締結ニ近クハ尼港事件ノ調停解決ニ盡力シ我國ノ為有利ナル結果ヲ誘致シタルコト不尠又同人ハ在支我官憲トノ間ニモ親交ヲ有シテ各般ノ便宜ヲ與ヘ或ハ帝國海軍司令官等ノ來往ニ際シ終始誠意ヲ以テ歡待ニ努メタル等我國ニ效セル功績顯著ナリ



支那海軍部軍械科長海軍上校

旭日中綬章

勲三等 姚葵常

右者永ク海軍部軍械科長ノ職ニ在リ  
終始我國ニ好意ヲ有シ各般ノ便宜ヲ  
圖リタルコト不尠 大正七年日支軍事協  
定ノ締結ニ際シ之カ委員トシテ盡力セ  
ル廉ニヨリ同年九月二十六日附ヲ以テ勲  
三等瑞寶章ヲ下賜セラレ聖恩ノ渥  
キニ感佩シ同八年日支軍事協定有

### 外務省

効期間ニ關スル協定締結ニ再ヒ委員  
トナリ盡瘁セルコト多大ナリ殊ニ大正  
七年十一月日支兵器供給契約ノ成立  
ハ全ク同人ノ斡旋盡力ノ致ス所ニシ  
テ其後銳意該契約ノ成果ヲシテ圓滑  
ニ促進セシメタリ尚同人ハ我官憲トハ最モ  
密接ナル關係ヲ保持シ帝國海軍司令官  
等ノ来往ニ際シ熱心ニ接待ノ勞ヲ執リ  
其間終始一貫シテ能ク彼我意志ノ疏通  
ニ努メタル等我國ニ效セル功績顯著ナリ



内閣の通 六一

入送第一六六號



大正十年四月十五日

外務大臣伯爵内田康哉



内閣總理大臣原 敬殿

支那國海軍少將劉華式外一名  
敘勳、件

支那國海軍少將劉華式外一名敘勳、儀  
別紙、通上奏致候間可然御取計相成

外務省

度此段申進候也

大正十年四月十六日

240